

## 2017年7月理事会議事録

日 時：2017年7月22日（土）14：00～17：30

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：石川日出志・近藤英夫・大島直行・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・瓦吹  
堅・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和夫・杉井 健・関  
根達人・都築恵美子・橋本裕行・宮本一夫・矢島國雄・長瀬 衛、監事：吉田哲  
夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：谷川章雄・岡内三眞・菊池誠一・新納 泉・堀内秀樹・唐澤至朗

進 行：橋本裕行

議 長：近藤英夫

橋本理事から、本日の出席者は20名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

橋本理事から、宮城県の遊佐五郎会員が2017年1月29日、東京都の前川浩一会員が4月3日、長野県の五十嵐幹雄会員が5月8日、鹿児島県の関 一之会員が6月15日、島根県の振井久之会員（逝去年月日不明）が亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第422号 賛助会員に関する規定・内規について

石川副会長から、賛助会員に関する規定・内規（案）については、第83回総会において説明し会員からの意見を受けたが、特段の意見はなかった。その後、改めて確認したところ、法人会員の権利について刊行物の配布以外の記載がないことから、総会や大会時の図書交換会において優遇措置を適用することとし、第6条第3号を加筆・修正したとの説明があった。審議の結果、修正案を承認するとともに、8月会報から賛助会員の募集を開始することを確認した。

### 議案第423号 著作権規定について

石川副会長から、第83回総会で報告し会員からの意見を受けた著作権規定（案）が提示され、審議の結果、原案通り承認し、本日付で制定・施行となった。また、各機関誌の手続きについて、確認された。

### 議案第424号 日本考古学協会賞規定の一部改正について

石川副会長から、実際に選考に当たっている日本考古学協会賞選考委員会からの意見を受けて検討した日本考古学協会賞規定の修正案が提示された。主な改正点は、①機関誌『日本考古学』及び英文機関誌『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）に掲載された論文を対象とした「優秀論文賞」の新設、②他の規定等との照合による文言の修正の2点であるとの説明があり、審議の結果、原案通り承認した。

#### 議案第425号 理事選挙について

瓦吹理事から、2018年理事選挙の日程、並びに選挙管理委員候補者案16名の提示があり、原案通り承認した。

#### 議案第426号 入会審査について

瓦吹理事から、2018年度新入会員（正会員）の入会資格審査日程、並びに入会資格審査委員候補者案の提示があり、原案通り承認した。また、合わせて入会資格審査委員会に係わる賛助会員の入会資格審査日程についても確認された。

#### 議案第427号 新学習指導要領に基づく小学校社会科教科書への旧石器時代記載に関する出版各社への要望書提出について

佐々木和博理事から、社会科・歴史教科書等検討委員会から、改訂された小学校学習指導要領を受けて作成される教科書の出版社に向けて、旧石器時代の取り扱いを求める要望書を提出したいとの提案があった。出版社は文部科学省の方針にしたがって作成しているので、文部科学省の担当部門に対して懇談を申し込むなどの方法で働きかけを行った方がよいとの指摘があり、審議の結果、会長名での出版社への要望書の送付は再検討が求められた。

#### 議案第428号 現行小中学校社会科教科書訂正箇所への出版各社への送付について

佐々木和博理事から、社会科・歴史教科書等検討委員会から、現行の小中学校社会科教科書について、出版各社に訂正を求める指摘を行いたいとの提案があった。審議の結果、研究者でも様々な意見がある指摘箇所も見受けられることから、社会科・歴史教科書等検討委員会には再度慎重な検討が求められた。

#### 議案第429号 文化財保護法の改正について

矢島理事から、文化庁文化審議会に「これからの文化財の保存と活用の在り方について」の諮問があり、文化財分科会に企画調査会が設置され、文化財を活用して地域振興・観光振興を目指す方向性で、文化財保護法改正に向けた検討が行われているとの説明があった。埋蔵文化財保護対策委員会で推移を注視し、中間まとめ後のパブリックコメントに理事会開催時期が合わないようであれば、メール審議でパブリックコメントの提出案を諮りたいとの提案があり、承認した。

#### 議案第430号 機関誌『日本考古学』掲載著作物の転載申請について

関根理事から、『日本考古学』第43号に掲載された論文が、執筆者の所属機関サイトに掲載されていることが判明した。機関誌『日本考古学』投稿規定第8条の「掲載原稿の転載は、原則として1年は控えること。」に抵触するため、該当論文については削除いただいたところ、執筆者から業績の承認として掲載が必要である旨の申請があるとの説明があった。審議の結果、機関誌『日本考古学』投稿規定第8条、及び本日施行の著作権規定についても同様の規定があることから、完成版の掲載については許可しないこととした。

#### 議案第431号 『日本考古学年報』に関するアンケートの実施について

小笠原理事から、『日本考古学年報』のWeb上での公開については、前理事会からの継続検討事項となっている。公式サイトのリニューアルを実施したこともあり、改めて年報について会員の意向を伺うアンケートを行いたいとの説明があり、アンケート案が提示された。アンケート内容や送付人数等についての意見があり、審議の結果、アンケートの実施については承認し、内容については改めてメール審議することとなった。

#### 議案第432号 退会の承認について

久保田理事から、神奈川県のみ会員、島根県のみ会員、山梨県のみ会員の3名から2017年度をもつての退会届けが提出されている旨の報告があり、退会を承認した。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

#### 報告第568号 2017年度大会について

小澤理事から、2017年度宮崎大会の内容説明があり、理事の出欠が確認された。

#### 報告第569号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

小澤理事から、7月9日（日）に小委員会を開催し、協会設立70周年記念事業の各事業の進捗状況について報告された。①永年在籍会員の顕彰については、対象者のおおよその原案を作成した。②公開講演会の実施箇所については個別に開催候補地と交渉を行っている。③『日本考古学と日本考古学協会 1999～2018年』（仮）については、機関誌『日本考古学』の特別号として刊行予定であったが、機関誌『日本考古学』編集委員会との協議の結果、通巻号数で1号増刊した形態で2018年10月に刊行予定で進めている。また目次案・執筆候補者案が提示され、今後は執筆依頼を行うとの説明があり、了承した。

#### 報告第570号 協会寄贈図書について

長瀬常務理事から、奈良大学図書館から一括寄贈図書の登録作業がほぼ終了したとの報告があった。今後は、寄贈再開後の2016年度総会以降に寄贈いただいた書籍の送付及び登録作業や、協会寄贈図書の利用・活用方法について協議を行う予定であるとの説明があり、了承した。

#### 報告第571号 陵墓報告

杉井理事から、7月7日（金）に宮内庁との陵墓懇談を行い、13学協会17名が参加した。また懇談に先立ち、明治大学博物館教室において全体会議を行い、今年度の運営委員会の役割分担、及び本年度の陵墓保全整備工事等について協議したとの説明があり、了承した。

#### 報告第572号 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

宮本理事から、5月28日（日）の第83回総会におけるセッション終了後に委員会を開催し、①セッションでの討論を受け、被災市町村への支援の必要性などについて意見交換を行った。②今年度の活動について、9月に被災地において現地の状況把握や文化財担当者

との懇談を行い、合わせて委員会を開催する予定であるとの報告があり、了承した。

#### **報告第573号 将来構想検討小委員会報告**

宮本理事から、6月24日（土）に委員会を開催し、①総会・大会における参加費の導入について、②総会・大会時の会費の支払いにおける現金の取り扱いと、それに伴う会費納入システムの改定について、③賛助会員の募集開始に伴う広報について、④日本考古学協会賞における機関誌『日本考古学』及び英文機関誌『JJA』を対象とした「優秀論文賞」の新設について、⑤名誉会員の推薦について、⑥総会の議事次第の見直しについて検討を行ったとの報告があり、了承した。

#### **報告第574号 災害対応委員会報告**

宮本理事から、7月上旬の九州北部地方で発生した「平成29年7月九州北部豪雨」による文化財の被災状況についての報告、及び災害発生時の情報収集について今後検討を要するとの課題提起があり、了承した。

#### **報告第575号 埋蔵文化財保護対策委員会報告**

小笠原理事から、6月11日（日）に委員会を開催し、①埋文委アンケートの実施について内容や日程の検討を行った。②沼津市高尾山古墳の保存と活用について、安全性確保の観点から当初推奨された案以外にも含めて検討を行う状況にあることから、今後の動向を注視する必要がある。③北九州市城野遺跡について引き続き情報収集を行っていくとの報告があり、了承した。

#### **報告第576号 国際交流委員会報告**

小澤理事から、6月17日（土）に2017年度第1回委員会を開催し、①英文サイトに掲載する英文コンテンツについて、「発掘された日本列島2017」より掲載する遺跡を選択、決定した。②今年度の「第11回アジア考古学四学会合同講演会」は「アジアのガラス」（仮）をテーマに、2018年1月20日（土）に明治大学において開催する予定であるとの報告があり、了承した。

#### **報告第577号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告**

佐々木和博理事から、6月25日（日）に委員会を開催し、①第83回総会のポスターセッションの総括を行い、教科書出版社への誤り等の指摘について、内容と方法を検討した。②2018年度総会において実施を検討しているセッションについて、内容及び報告者を協議した。③新学習指導要領発表後の対応について、小学校教科書における旧石器時代の記述を求める要望書を教科書出版社へ提出することを検討したとの報告があり、了承した。

#### **報告第578号 研究環境検討委員会報告**

篠原理事から、第83回総会時の5月27日（土）に委員会を開催し、①文化庁担当者及び2015年度奈良大会第3分科会「大学教育と文化財保護」担当者と、文化庁の「遺跡をまもってまちづくり」の取り組みや、近畿地区考古学大学連絡協議会の活動や成果について、

意見交換を行った。②「埋蔵文化財保護行政に関わる職員の採用動向に関するアンケート」について、作業分担等について協議した。③「認定考古士」の検討に当たり、現在の考古学・埋蔵文化財関係の資格や他学会の資格等について整理したとの報告があり、了承した。

#### 報告第579号 広報委員会報告

大島理事から、6月3日（土）に委員会を開催し、①70周年事業等の今年度の協会の広報活動の在り方について検討した。②公式サイトについては基本的な構築作業はほぼ終了したが、整備・充実を諮る必要がある意見交換を行ったとの報告があり、了承した。

#### 報告第580号 機関誌『日本考古学』編集委員会報告

関根理事から、本日7月22日（土）理事会前に編集委員会を開催し、『日本考古学』第44号の投稿状況及び掲載予定内容について協議したとの報告があり、了承した。

#### 報告第581号 英文機関誌編集委員会報告

佐々木憲一理事から、5月26日（金）に編集委員会を開催し、①『JJA』Vol. 5, No. 1についての投稿進捗状況及び掲載予定内容について協議した。②『JJA』Vol. 5, No. 2からデジタル投稿査読システムを導入する予定であり、操作性の確認を行っている。③第83回総会セッションにおける総括を行った。④機関誌『日本考古学』の掲載論文や総会・大会時のセッション要旨等の掲載を検討しているとの報告があり、了承した。

#### 報告第582号 文書管理規定・情報公開内規について

小笠原理事から、5月13日の理事会で承認・施行された「文書管理規定」及び「情報公開内規」について、見直したところ、他の規定との照合等により文言修正を行ったとの説明があった。吉田監事から、語句の修正について指摘があり、一部修正を行った上で、承認した。

#### その他

##### （1）東日本大震災対策特別委員会報告書のHP掲載に関わる経緯について

佐藤理事から、『東日本大震災対策特別委員会報告書』に掲載した新聞記事の著作権処理を行い、6月末日付で協会公式サイトに掲載したとの報告があった。

##### （2）協会刊行物の会員への送付について

長瀬事務局長から、2017年度総会時刊行物の会員への発送について、業者委託分中に差出人未記載のものがあった。現在、配達状況の確認中であり、今後は再発防止に努めるとの説明があった。

以 上